

2019年度 決算説明会 資料

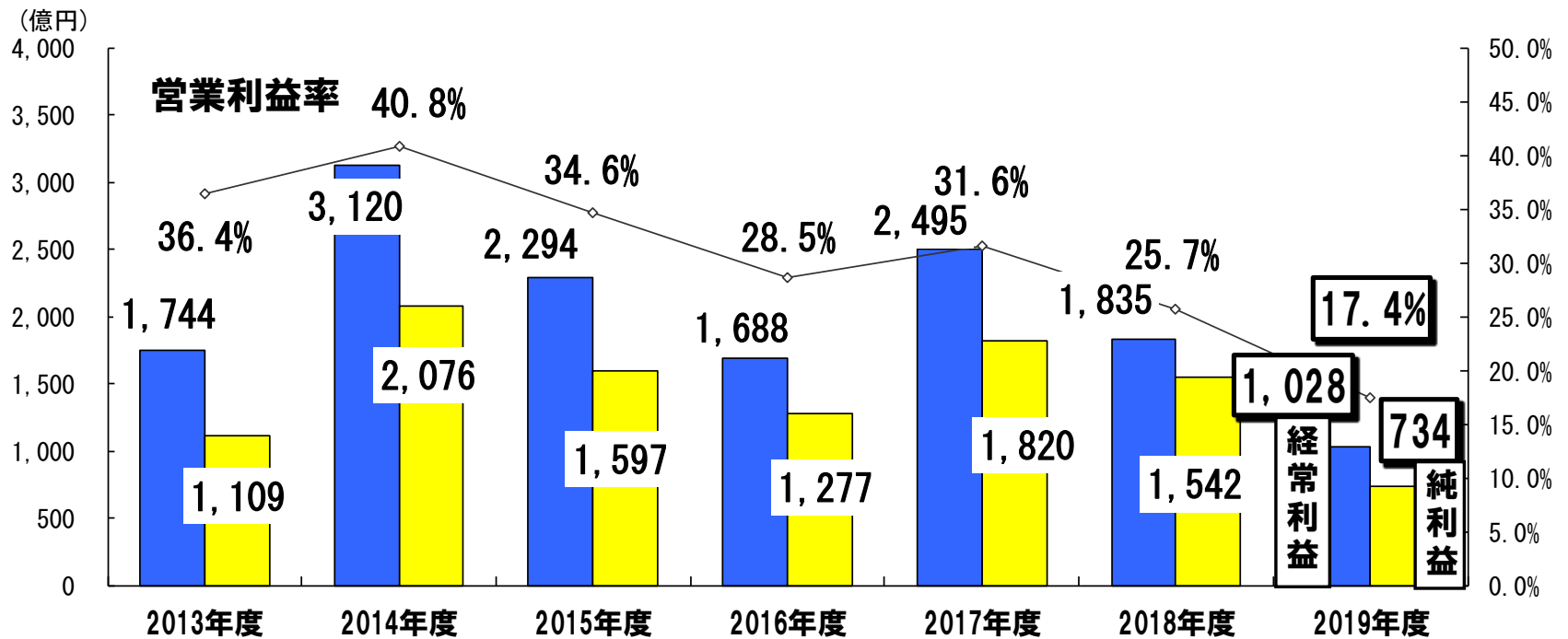
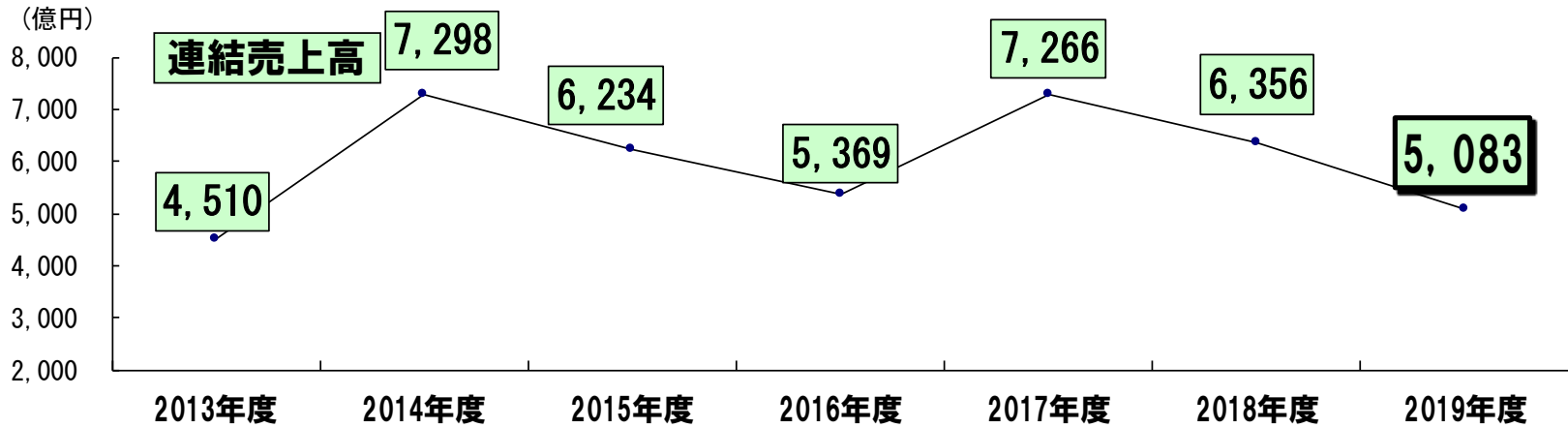
ファナック株式会社

本資料に含まれている見直しには、主要市場における製品の需給動向、競合状況、経済情勢その他に不透明な面があり、実際と異なる可能性があることをご承知おき願います。

2019年度 連結実績

(単位：億円)	2018年度 実績	2019年度 予想	2019年度 実績	増減率 前年比	増減率 前回予想比
売上高	6,356	5,067	5,083	-20.0%	+0.3%
売上原価 【売上原価率】	3,698 58.2%	3,322 65.6%	3,261 64.2%	-11.8%	-1.8%
営業利益 【営業利益率】	1,633 25.7%	806 15.9%	883 17.4%	-45.9%	+9.6%
経常利益 【経常利益率】	1,835 28.9%	919 18.1%	1,028 20.2%	-44.0%	+11.9%
特別損益	251	-20	-20	-	-
純利益 【純利益率】	1,542 24.3%	659 13.0%	734 14.4%	-52.4%	+11.3%
為替レート					
円/1USD	110.91	106.50	108.74	-2.0%	+2.1%
円/1EUR	128.41	119.54	120.82	-5.9%	+1.1%

連結売上高・損益 年間推移

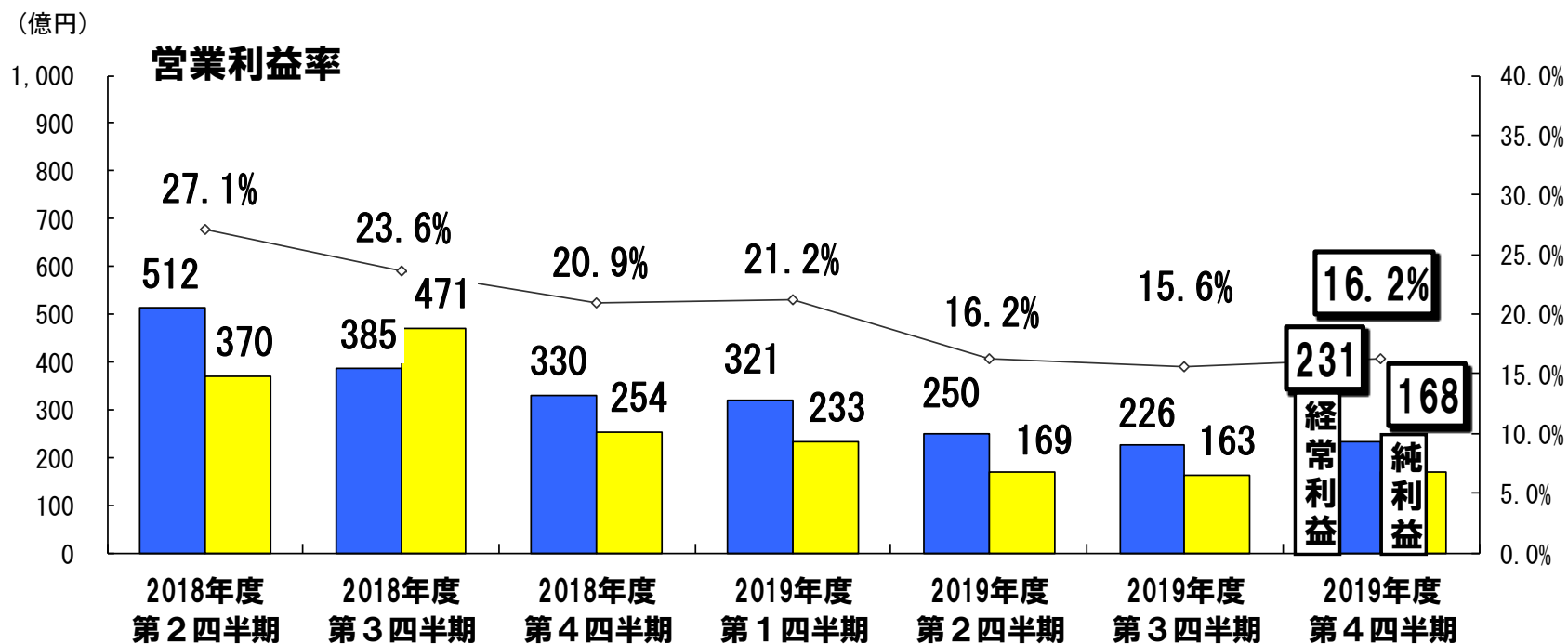
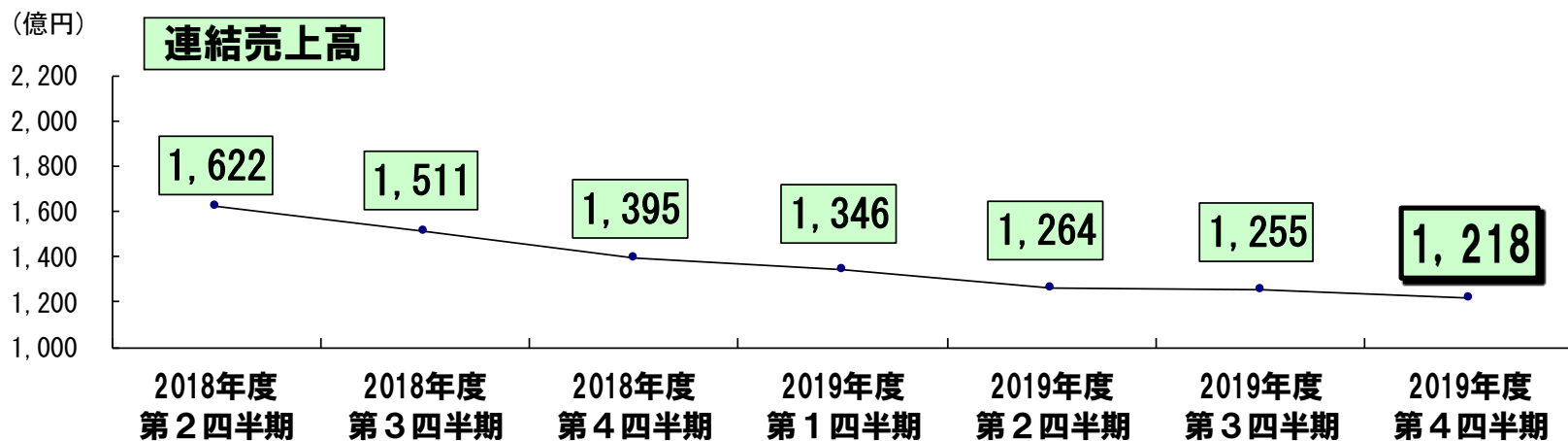


純利益 = 親会社株主に帰属する純利益

2019年度 第4四半期(3ヶ月) 連結実績

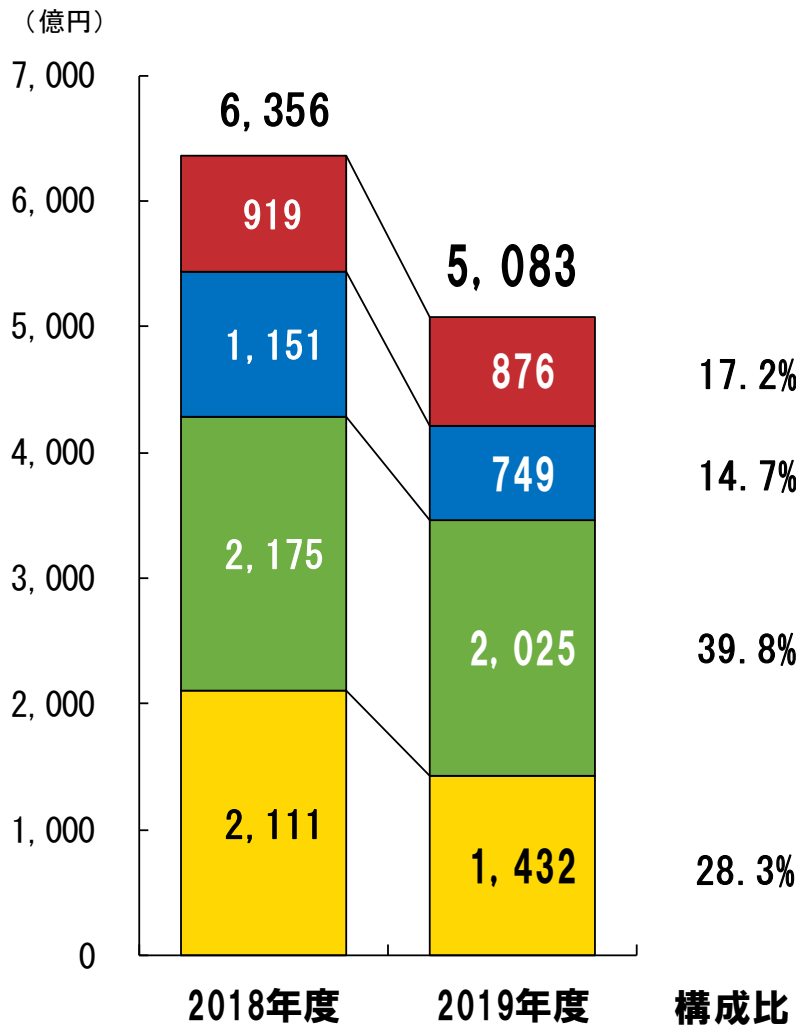
(単位：億円)	2018年度 第4四半期 (1～3月)	2019年度 第3四半期 (10～12月)	2019年度 第4四半期 (1～3月)	増減率 前年同期比	増減率 前四半期比
売上高	1,395	1,255	1,218	-12.7%	-3.0%
売上原価 【売上原価率】	843 60.4%	825 65.8%	792 65.0%	-6.1%	-4.1%
営業利益 【営業利益率】	292 20.9%	196 15.6%	197 16.2%	-32.4%	+0.7%
経常利益 【経常利益率】	330 23.6%	226 18.0%	231 19.0%	-29.8%	+2.2%
純利益 【純利益率】	254 18.2%	163 13.0%	168 13.8%	-33.7%	+3.1%
為替レート					
円/1USD	110.20	108.76	108.92	-1.2%	+0.1%
円/1EUR	125.15	120.32	120.11	-4.0%	-0.2%

連結売上高・損益 四半期推移

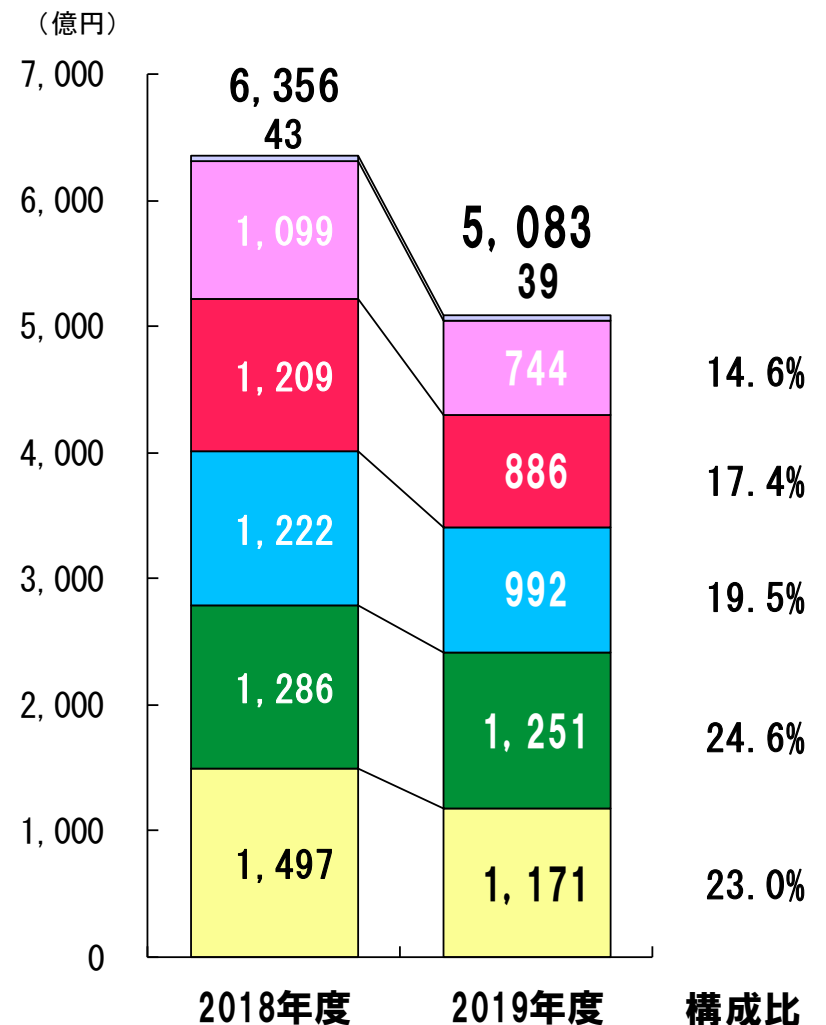


純利益＝親会社株主に帰属する純利益

連結 部門別・地域別売上高 年間推移

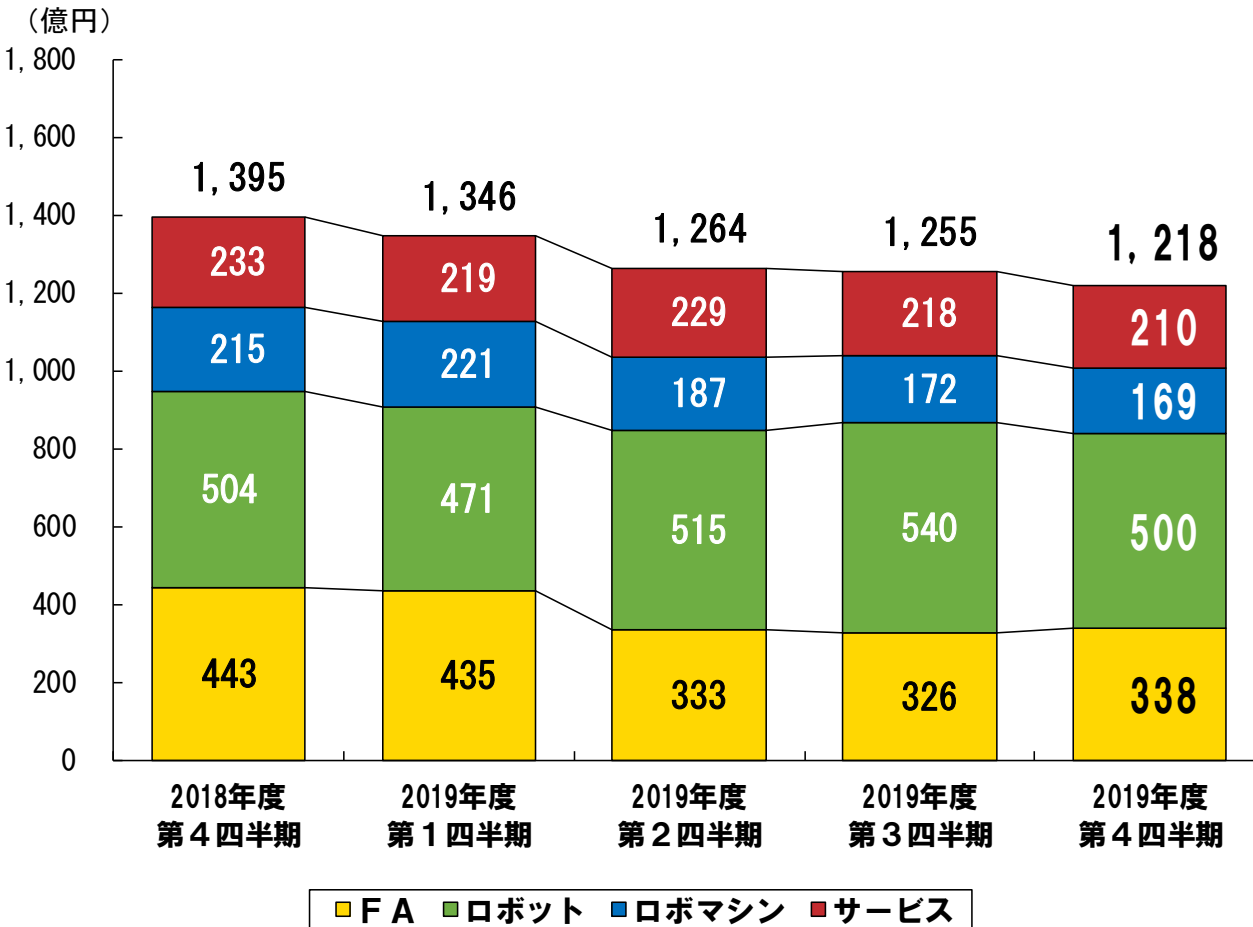


■ FA ■ ロボット ■ ロボマシン ■ サービス



■ 国内 ■ 欧州 ■ アジア(中国以外) ■ 米州 ■ 中国 ■ その他

連結 部門別売上高



第4四半期（3ヵ月）の状況

FA →欧州、韓国、台湾で増加。国内で減少。

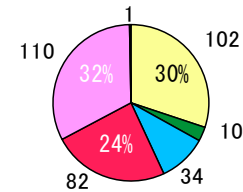
ロボット →米州で第3四半期の自動車関係向け増加の反動で減少。

国内、欧州で減少。中国で増加。

ロボマシン→国内で減少。ロボショットが中国で減少。ロボドリルが中国、その他アジアで増加。

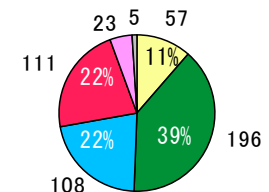
2019年度第4四半期

FA 地域別



-3.0%

ロボット 地域別

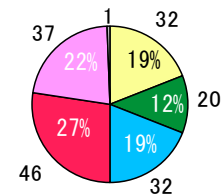


-3.6%

-1.3%

-7.4%

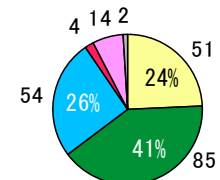
ロボマシン 地域別



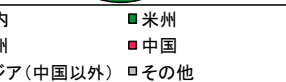
3.8%

増減率
前期比

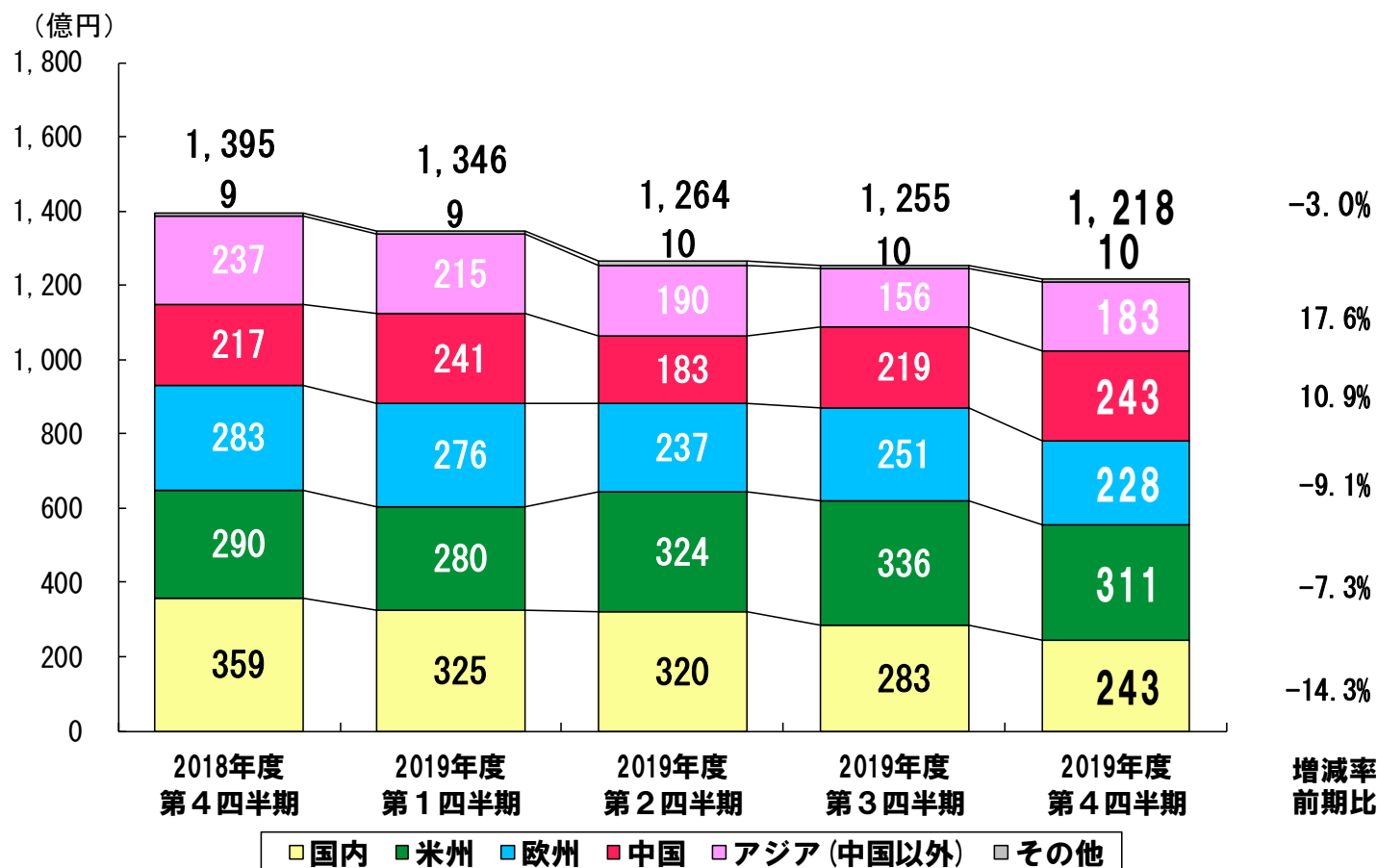
サービス 地域別



※中国で持分法適用
会社が行っている
サービスの売上高は
連結売上に含まない



連結 地域別売上高



第4四半期（3ヵ月）の状況

国内 →FA、ロボット、ロボマシンいずれも減少。

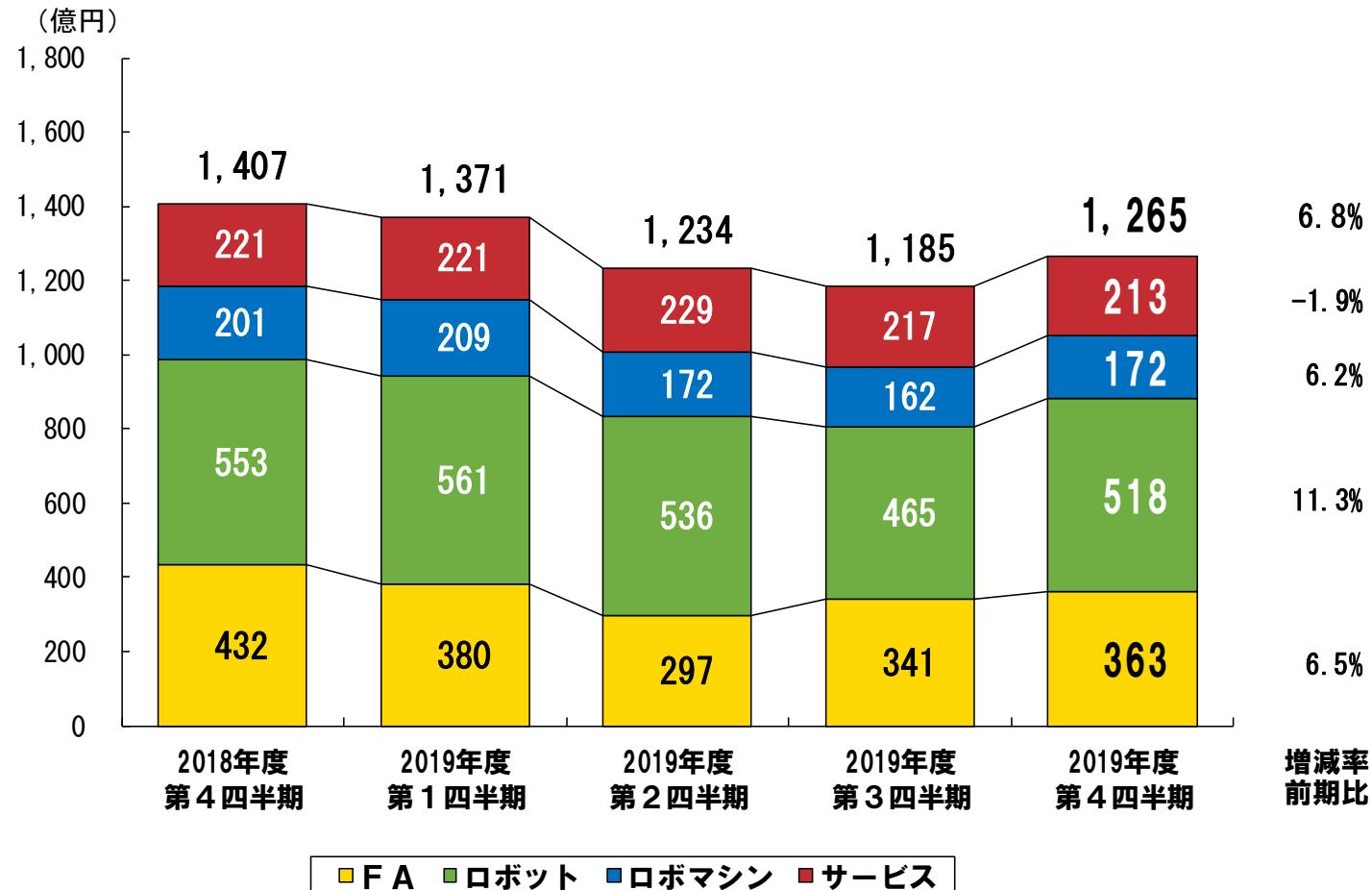
米州 →ロボットが第3四半期の自動車関係向け大口商談の反動で減少。

欧州 →ロボット、ロボマシンが減少。

中国 →ロボットが増加。ロボドリルがIT関連などで増加。ロボショットが減少。

アジア (中国以外) →FAが韓国、台湾で増加。ロボドリルがその他アジアで増加。

連結 部門別受注高



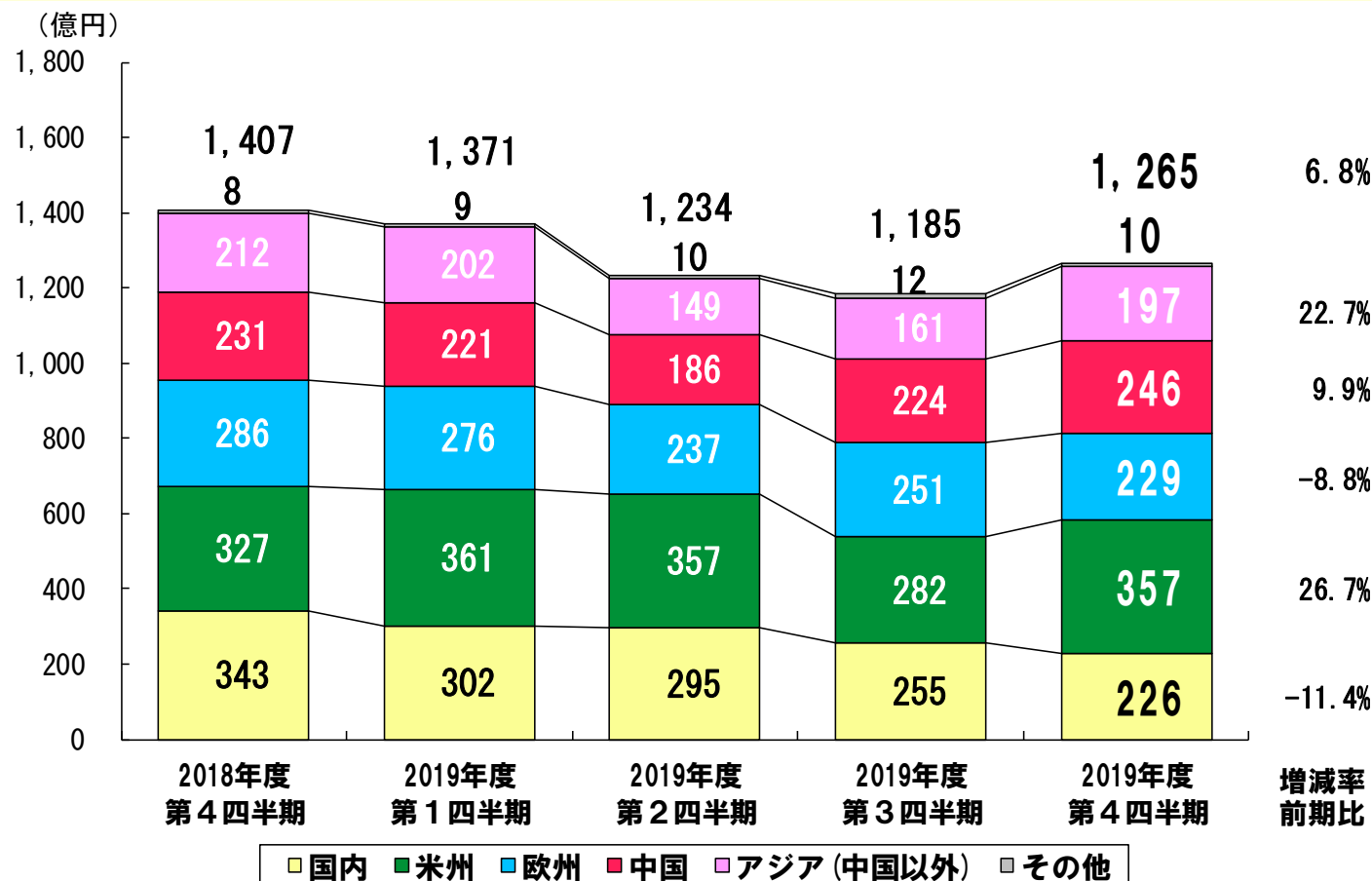
第4四半期（3ヵ月）の状況

FA →韓国、台湾、インドで在庫調整が一巡し増加。国内で減少。

ロボット →米州で自動車関係向けをはじめとして増加。中国で増加。国内、欧州で減少。

ロボマシン→ロボショットが中国、台湾などで増加。ロボドリルが横ばい。ロボカットが減少。

連結 地域別受注高



第4四半期（3ヵ月）の状況

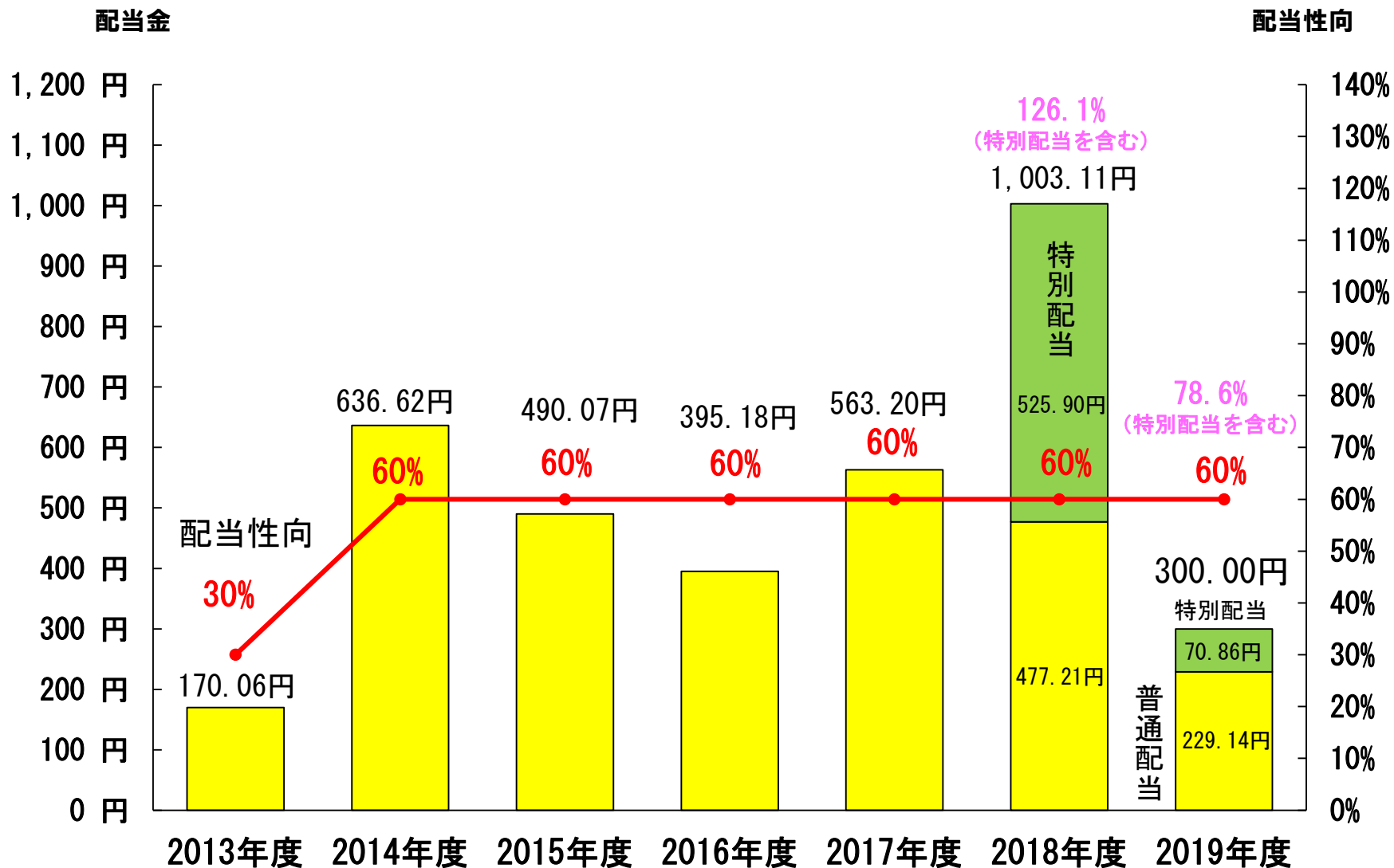
- 国内 → F A、ロボット、ロボマシンいずれも減少。
- 米州 → ロボットが自動車関係向けをはじめとして増加。
- 欧州 → ロボットが減少。F Aが増加。
- 中国 → ロボット、ロボマシンが増加。
- アジア (中国以外) → F Aが韓国、台湾、インドで在庫調整の一巡により増加。ロボショットが台湾で増加。

(単位：億円)	2018年度	2019年度	前年比
設備投資額	1,331	705	-626
減価償却費	397	459	62
研究開発費	562	513	-49

連結 業績予想

(単位：億円)	2019年度			2020年度	増減率	増減率
	上期実績	下期実績	通期実績	上期予想	前年同期比	前期比
売上高	2,610	2,473	5,083	1,979	-24.2%	-20.0%
売上原価 【売上原価率】	1,644 63.0%	1,617 65.4%	3,261 64.2%	1,345 68.0%	-18.2%	-16.8%
営業利益 【営業利益率】	490 18.8%	393 15.9%	883 17.4%	189 9.6%	-61.4%	-52.0%
経常利益 【経常利益率】	571 21.9%	457 18.5%	1,028 20.2%	231 11.7%	-59.5%	-49.5%
特別損益	-20	-	-20	-	-	-
純利益 【純利益率】	402 15.4%	332 13.4%	734 14.4%	164 8.3%	-59.2%	-50.6%
為替レート						
円/1USD	108.63	108.84	108.74	100.00	-7.9%	-8.1%
円/1EUR	121.42	120.22	120.82	115.00	-5.3%	-4.3%

配当推移



安全、高信頼性、親しみやすい新型協働ロボット



CRX-10iA

CRX-10iA/L

安全

- 人に触れるとすぐに止まる高い安全性

高信頼性

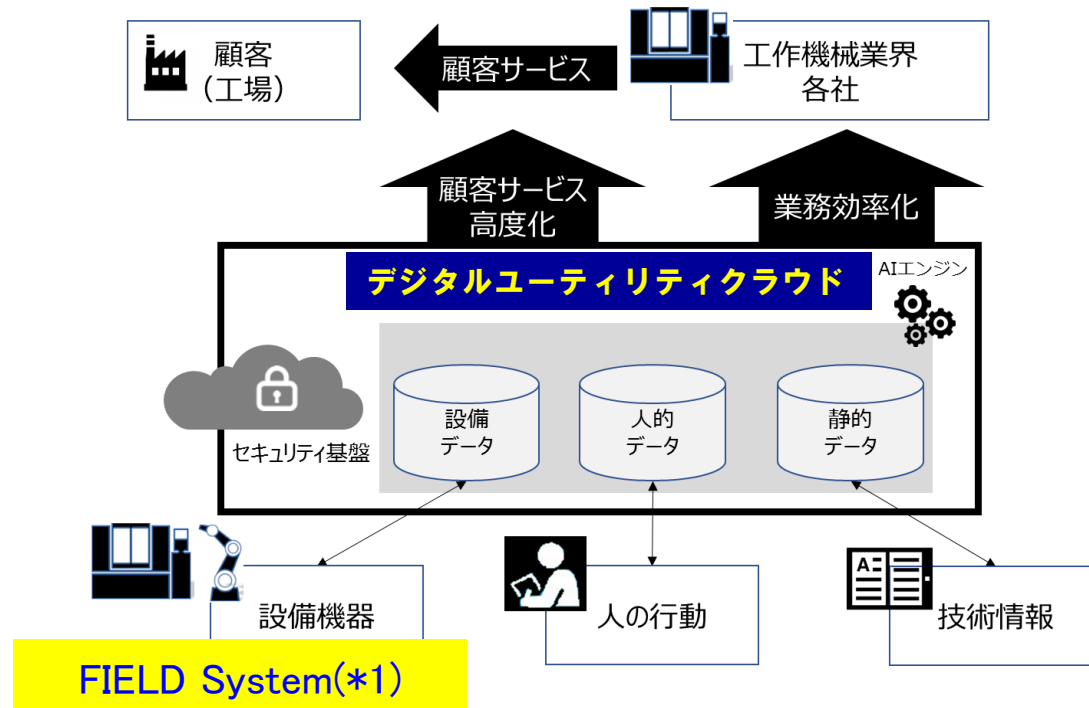
- 長年培った高い信頼性技術

親しみやすさ

- クレーンいらずの簡単設置
- 直感的な操作で簡単教示
- 各社のグリッパも簡単接続

- 2019年12月の国際ロボット展で初出展以降、全世界から高い関心と引き合い
- 2020年6月から出荷開始

ファナック、富士通、NTT Com 工作機械業界向け「デジタルユーティリティクラウド」実現に 向けた協業を開始(2019年9月に発表)



「デジタルユーティリティクラウド」は、工作機械業界全体で重複している社内業務の効率化および顧客サービスの高度化を目指し、デジタル革新を加速させる構想です。その実現のために三社は、業界各社で共通利用できるクラウドサービスの開発に取り組み、デファクトスタンダードを目指します。

(注1) FIELD system: FANUC Intelligent Edge Link & Drive system.

FANUC の担当

工作機械業界の立場に立ち、「デジタルユーティリティクラウド」に必要な機能を企画します。また、エッジレイヤを担うソリューションである「FIELD system」の開発を通じて得た知見を活かし、エッジレイヤに必要な機能を担当します。

FUJITSU の担当

富士通が保有する、ものづくりの様々な情報をつなげるデジタルプレイス「FUJITSU Manufacturing Industry Solution COLMINA(コルミナ)」の開発を通じて得た知見を活かし、アプリケーションレイヤを担当します。

NTT Communications の担当

NTT Comが保有する、ネットワーク・クラウド・セキュリティなどのサービス提供を通じて得た知見を活かし、セキュアなデータ利活用を実現するためのICT基盤やセキュリティ機能を担当します。

【 今後に向けて 】

本サービスは、将来的なJV(合弁会社)の設立も視野に三社で「デジタルユーティリティクラウド」を推進していきます。